

事業所名

児童発達支援センターぶれも

支援プログラム

作成日

令和 7 年

1 月

8 日

法人（事業所）理念	こどもの健やかな育ちを支えるために、保育士や言語聴覚士、作業療法士、児童指導員等の専門職を配置しその専門性を発揮し、こども一人ひとりに合わせたオーダーメイドのプログラムを立案・実施する。また、子育て支援としてペアレントトレーニングを行う。ご家庭での日々の暮らしや保育所・幼稚園での生活の困り感や不安をお聞きし、一緒に検討し困り感の軽減及び解消を行う。		
支援方針	親子参加型で一人ひとりのニーズに合わせたオーダーメイドの療育を行い「できた」を積み重ね成功体験に結び付けていく支援を実施する。		
営業時間	平日、土曜日、祝日	9 時 00 分から 16 時 00 分まで	送迎実施の有無 送迎なし
	支援内容		
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握し生活リズムの調整を行う。 個々にあわせて必要となる身辺自立の支援を行う。 入所退所時に必要な挨拶・身支度・清潔習慣が定着するよう支援する。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 正しい姿勢の保持や体のこなし、合理的な道具の使用等の支援を行う。 遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養う。 様々な運動遊びを通して、友だちと楽しく体を動かす経験が積めるよう支援する。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや制作活動を通して関係性の把握や行動遂行の手順等を考えたり経験したりしながら抽象思考力を養う。 小集団での活動を通して考えや行動を調整する力を養う。 課題遊びを通して色・形・数・文字等の興味関心を高め認知力を養う。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と共にことばの土台となるコミュニケーションの充実を図る働きかけを行い、ことばの初期発達を促す支援をする。 語い力・構文力の向上及び発音の明瞭度の向上について専門的な支援を行う。 個別や小集団での視覚支援を取り入れたことばのやりとりの体験を通し言語面の理解力と表現力を育てる。 個々の育ちに合わせ、必要に応じて音声言語の代替手段の提案を行う。 	
	人間性社会性	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や支援者、友だちと一緒に遊ぶ活動を通して他者と関わりの経験を積めるよう支援する。 ルールのある遊びを通してルールに従いながら自分自身を發揮できるように他者やルールへの自己調整力を養う。 小集団のソーシャルスキルトレーニングのプログラムにより集団生活に必要な知識・技能を養い、社会性向上を支援する。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育及び保護者の小集団でのペアレントトレーニング 家族からの相談や悩みに対する助言 療育場面の保護者参加の機会を利用し、具体的な働きかけ方についてアドバイスし家庭生活での実践につなげる。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 保育所や学校などとの情報共有により支援児と保護者が安心して保育所入所・就学ができるよう支援する。 移行支援会議やカンファレンスへの参加
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 関係する児童発達支援事業所、相談支援事業所と情報を共有し、密な連携を図る。 自立支援協議会や通所支援連絡会、地域勉強会へ参加する。 保育所・幼稚園を訪問し集団での様子を観察し担任と対応方法及び今後の方向を共有する。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 新人研修 法定研修（コンプライアンス、マナー・接遇、虐待防止、ハラスメント、感染予防・BCP、人権） ケース検討会 於：1～2／週 外部講師による ABA 研修（講義・事例検討）於：1～2／月
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り・ハロウィン・クリスマス・豆まきなどの季節に合わせたイベントを開催する。 保護者会、保護者勉強会、外部講師による講演会を開催する。 小集団でのペアレントトレーニングやピアサポートの機会を提供する。 		